

分析結果として記述すべき情報

1. 分析の対象となる統計量
2. 分析の目的
3. 分析の方法
4. 分析の結果
5. 結果の考察

...について、過不足なく書く必要がある

解答例参照

❖ 調査協力者の性別ごとの愛着スタイルの分布は、
表1に示すとおりであった。

1. 分析の対象となる統計量

愛着スタイルの分布に性別による偏りが
みられるかどうかを確かめるため、

2. 分析の目的

独立性検定を行った。

3. 分析の方法

χ²検定

その結果、χ²値は0.28、自由度2、p値は0.85であった。

4. 分析の結果

χ²(2)=0.28, n.s.)

愛着スタイルの分布に性別による偏りは見られないことが
わかった。

5. 結果の考察